

協議会の活動例



研修部会 第1回研修部会

10月12日(水) 区役所にて、つるみ臨海フェスティバルに青少年指導員協議会として出店するにあたり、事前講習会を行いました。ぶんぶんゴマと紙

トンボの作り方について皆さんの知識を共有したり、当日のコロナ対策の方法について検討しました。

事業部会 変わりゆく子ども達との関わり方

令和4年度、感染症対策をしっかりと行いながらなんとか部会を開く事が出来るようになりました。現在は、新たな事業の発足に向けて活動しており、子

ども達と一緒に一つの事を創り上げられるよう進み出しました。青少年の自主的活動を支援できるような事業を行いたいと考えています。

広報・調査部会 大人が出来る事とは

令和4年度もコロナ感染症の影響により各地域の行事活動が中止又は自粛ムードが余儀なくされる中、広報・調査部会としては各地区の活動を通して今の子ども達が抱えている問題を表現できない複雑

な現状と地域の繋がり家庭環境の変化周りにいる大人が出来る事は何かを考え青少年指導員は幅広い交流活動を今後も注意深く持ちたいと考えています。



神奈川県青少年指導員表彰

- (上末吉).....鈴木 成雄
- (寺尾第二).....佐藤智賀子

神奈川県青少年育成活動推進者表彰

- (潮見橋).....岡田 和雄

令和4年度
各種表彰者

横浜市青少年指導員永年勤続者表彰

- 20年(生麦第二).....望月美代子
- 15年(鶴見中央).....吉川 宏保
- 15年(生麦第二).....川崎 早苗
- 15年(豊岡).....佐藤 洋子
- 15年(駒岡).....山崎 茂生
- 10年(市場第二).....正木 隆



TSURUMI SEISHI DAYORI

発行
鶴見区青少年指導員協議会
広報・調査部会
事務局
鶴見区役所地域振興課
区民活動支援係
電話 045 (510) 1695
FAX 045 (510) 1892



鶴見区青少年指導員協議会会長あいさつ

鶴見区青少年指導員協議会
会長
兼子 彰

青少年指導員協議会第28期鶴見区会長として活動させていただいております。寺尾第二地区の兼子彰と申します。

前期中に鶴見区一周歩行踏破を掲げましたが、脚部の故障などがあり適度に続けていたウォーキングを中断してしまい、残念でしたが実現できませんでした。何とか今期中には実現したいと思います。生麦事件史跡、ダッシュ海岸、ふれ一ゆを目指します。

私ごとで恐縮ですが、ウォーキングは中断していますが継続しているものもあります。それは家前にお地蔵さまをお参りすること。毎日お茶と線香をあげ手を合わせます。自分にとっては神頼みをするわけではありません。イメージが湧かないと思いますが、最近ではコロナ感染の減少、ウクライナもそうですが世界のあらゆる紛争がなくなるように、もちろん青少年指導員の活動が平常化できるようにと祈っております。

鶴見区の青少年指導員の活動としての屋台骨は、

広報・調査、研修、事業の三部会で構成されています。

広報部会による青指だよりについては各地域の風習や特色を掲載して発行を継続しています。研修部会については区民祭でぶんぶんゴマ、紙トンボ作りを指導するために指導員への講習会を開催し、また高校の生活指導の先生を招いて、学校内外の生徒の活動状況についての講演会を予定しています。事業部会においては、長く開催されてきました「中学校生徒交流の集い」は新型コロナ感染防止対策の一環で開催を控えているところですが、事業内容を見直すのにより機会ではないかという声があがり、只今盛んに事業部会を開催し新たな試みを検討中です。

まずは学校という枠を取り外し、私たち青指と学生、また学生相互が交流し活動できる場を持ち、最終的にはここに中学生が加わり、若い力で鶴見区の活性化につながればと考えます。聞くところよれば、ある高校では小学校でのスポーツ指導、夜間にもかかわらず子ども達への学習指導、防災訓練への参加など積極的に地域の活動に貢献しているようです。

これらを踏まえて、現在「ダンスバトル」の声が上がっておりますので、学園祭を見学したり地区の活動を参考にしながら実現に向けて話し合いをしています。鶴見区青少年指導員の活動にご期待ください！

これからの活動にご期待ください

つるみ臨海フェスティバル

10月15日(土)に行われたつるみ臨海フェスティバルに参加しました。鶴見区青少年指導員協議会として昔遊びコーナーを出店し、ぶんぶんゴマと紙トンボを子ども達と一緒に作りました。3年ぶりの開催＆参加ということで不安もありましたが、当日は多くの方に足を運んでいただき、とても盛り上がりました。また、作り方だけでなくぶんぶんゴマの回し方や、紙トン



ボの飛ばし方についてもアドバイスをいたしました。少しコツが必要なため苦戦していた子ども達も、教わることでぶんぶんゴマの音がきれいに鳴ったり紙トンボが飛んだりした時は、とても嬉しそうな顔を見せてくれました。

矢向 地区

第1回リアルソフト盤大会

6月12日(日)に第1回リアルソフト盤大会が開催されました。矢向一丁目のA・Bの2チームと南町、三丁目、五丁目の合計5チームが参加しました。この大会は、ヒット、ホームラン、アウト、ダブルプレー等のゾーンがあります。強い選手を揃えた矢向一丁目Aチームよりも運がよかったのか?一丁目Bチームが優勝しました。



各地区の活動紹介

掲載以外の地区は、次回の青指だよりに掲載予定です。

市場 地区

陶芸教室

7月24日(日)に3年ぶりの陶芸教室が開催されました。当日は3密を避けるため、午前・午後の2つに分け、小中学生とその保護者122名が参加しました。佐藤講師の説明の後、真剣な表情で皿やカップ作りなど「真夏の大冒険」がスタートしました。後日、焼き上がった作品は青少年指導員から参加者に手渡されました。



市場第二 地区

少年少女球技大会

10月30日(日)、市場小学校のグラウンド&体育館に於いて、市場小学校区の少年少女球技大会を開催しました。競技はキックベースボールと女子ドッジボールを行い、3団体の協力の元を実施されました。3年ぶりの開催の為、子ども達の活気あるひびきが増し学校中に行き渡った楽しい一日でした。



潮田東部 地区

グランドゴルフ

潮田東部地区(14町会)では、潮干狩り・救急救命講習会・グランドゴルフ・ボウリング大会等の行事を計画、青少年と大人達の親睦を深めています。ここ数年はコロナ禍の為、開催はできていませんが、11月にはグランドゴルフを3年ぶりに開催。徐々にですが活動を開始しています。



潮田西部 地区

3年ぶりの「納涼祭」子供達大喜び

7月23日(土)、例年であればこの時期は盆踊り大会を土日で開催していたのですが、コロナ禍という事もあり、土曜のみで納涼祭という形で実施しました。各町会で模擬店を出し、3年ぶりのイベントという事もあり、多くの子ども達が来てくれ各お店を回って楽しんでいました。役員の方々もその笑顔に癒されました。



潮見橋 地区

於舎子治稻荷大明神

潮田一丁目に鎮座する於舎子治稻荷大明神は、年号は定かではないが二、三百年以上は鎮座されていると伝えられています。虫封じの神、子育ての神として信仰され、現在も地元有志により管理されており、大晦日の深夜から元日にかけての初詣や二月の初午には地元住民が参拝する姿が見受けられます。



鶴見中央 地区

旧東海道(地区紹介)

鶴見中央地区は江戸時代、旧東海道が通っている地域でした。「間の宿(あいのしゆく)」として名物「よねまんじゅう」を商いする茶屋や「信楽茶屋」、「霸王樹(さぼてん)茶屋」といった茶屋でにぎわっていたそうです。この石碑は、ベルロードにあるエスプランというパン屋さんにあります。



生麦第一 地区

青指・スポーツ推進委員合同研修会

10月16日(日)、3年ぶりに運動会を予定していましたが、コロナを考慮し、健康育成部会(青指・スポーツ推進・子供育成会)で協議の上中止となりました。その代わりに新スポーツのモルックの研修会を実施し、生麦第二地区より講師を招き、ルール説明・競技の方法について実技を交え行いました。頭・技量を使って楽しく有意義な研修会だったので、他のスポーツと共に今後の活動に活かせたいと思いました。

